

国際教育支援

## 香港中文大学／ ベトナム国家大学ハノイ校 サマープログラムの実施

本プログラムは、協定校で約2週間授業を受けながら、現地学生との交流や語学力向上を目指す海外派遣プログラムです。全学共通科目「多文化教養演習」の一環として実施され、要件を満たした学生には2単位が付与されます。夏休みには、13名が香港へ、8名がベトナムへ参加しました。春休みには、タイ、台湾、中国、韓国、インドネシア、スペインで同様のプログラムを実施予定です。



## 京都サマープログラム2024を開催

国際高等教育院 (ILAS) とアジア研究教育ユニット (KUASU) は、7月25日から8月9日にかけて「京都サマープログラム2024」を実施しました。東アジア・欧米諸大学を対象とする「ILASプログラム」には34名、ASEAN・北米諸大学を対象とする「KUASUプログラム」には16名が参加し、計50名の留学生が参加しました。本学学生40名も全学共通科目として参加し、プログラムでは学術講義や実地研修、文化体験が行われ、日本語講座や討論会を通じて学生同士が活発に交流し、国際的な学びの場が提供されました。



## アムジェン・スカラーズ・プログラム 2024を実施

2024年のアムジェン・スカラーズ・プログラム (ASP) では、アジアの大学から13名のスカラーを受け入れ、6月7日から8月3日まで、8部局で研究活動を行いました。研究の合間には日本文化体験やキャンパス見学も行い、7月31日には研究成果発表会が開催され、優秀者2名が選出されました。また、東京大学で行われたアジア・シンポジウムでは、京都大学のスカラー3名が優秀ポスター賞を独占する快挙を達成しました。スカラー達にとって、今回の経験は科学者としてのキャリアに大きな影響を与える貴重なものとなりました。



Kyoto University  
Division of Graduate Studies  
京都大学大学院教育支援機構



https://  
www.kugd.k.kyoto-u.ac.jp/

ILAS  
INSTITUTE FOR LIBERAL ARTS AND SCIENCES



https://  
www.z.k.kyoto-u.ac.jp/



この用紙費用の一部は「世界の子どもにワクチンを日本委員会 (JCV)」に寄付されています。  
www.jcv-jp.org



この冊子に使用しているインキは、産業廃棄物として廃棄予定のインキを一部再利用しています。

# News Letter

このニュースレターでは、大学院教育支援機構、国際高等教育院、国際・共通教育推進部に関する情報をお届けしていきます。

国際教育支援

留学生のリクルーティング

## インドネシアにおける3日間のリクルーティングを実施

2024年9月26日から28日にかけて、本学の教職員9名（地球環境学堂の教員6名と大学院教育支援機構の職員3名）がインドネシアを訪問し、インドネシア大学での交流、ボゴール農科大学での留学フェアおよび表敬訪問、そしてジャカルタでのリクルートイベントを実施しました。ボゴール農科大学での留学フェアには120名以上の学生が参加し、ジャカルタのリクルートイベントには200名以上の応募者の中から選抜された31名の優秀な学生が参加しました。これらのイベントは、これまでに多くのインドネシア人留学生を受け入れてきた地球環境学堂の教員の協力を得て実現しました。

### ●インドネシア大学訪問 (2024年9月26日)

インドネシア大学を訪問し、両校間で留学生の増加と連携強化に向けた協議を行いました。特に、短期プログラムや交換留学プログラムの拡充に焦点を当て、具体的な連携方策について活発な議論が行われました。さらに、インドネシア大学の英語プログラムや奨学金制度に関する情報も共有され、留学生が安心して学べる環境づくりに向けた意見交換も行われました。また、インドネシア大学が実施予定のサマープログラムに本学が参加する可能性についても話し合わせ、今後の協力体制強化が期待されています。



### ●ボゴール農科大学における留学フェアと表敬訪問 (2024年9月27日)



ボゴール農科大学で「Kyoto University Study Abroad Fair: Focus on Global Environmental Studies」を開催しました。本フェアは、日本への留学や京都大学の魅力を知ってもらうことを目的に開催され、120名以上の学生が参加しました。本学の基本情報や地球環境学舎のカリキュラム紹介の後、活発な質疑応答が行われました。イベント終了後には、副学長らの表敬訪問が行われ、現在、多くの本学卒業生がボゴール農科大学で活躍していることが強調され、今が両校の交流を一層促進する絶好の機会であるとの認識が示されました。今後は特に短期インターンシップや短期留学プログラムを通じ、協力関係をさらに深めていく可能性を探りたいという意見が交わされ、今後の連携強化が期待されています。

(前ページからの続き)

### ●ジャカルタリクルートイベント(2024年9月28日)

ジャカルタで「Kyoto University Study Abroad Fair: Focus on Global Environmental Studies in Jakarta」を開催しました。本イベントには、**インドネシア国内の主要4大学から200名以上の応募があり、その中から書類審査を経て厳選された31名の学生が参加しました。**参加者は、現地に渡航した地球環境学部の教員と個別面談を行い、非常に高い関心と熱意を示し、イベントは大いに盛り上がりました。**優秀と判断された学生には、イベント後も継続的なフォローアップが行われ、受入に向けた調整が進んでいます。**また、京都大学インドネシア同窓会(HAKU)や在インドネシア日本大使館の後援を受け、今後のリクルート活動においても重要な成果が期待されています。



\* \* \*

今回のインドネシア渡航を通じて、本学とインドネシアの主要大学との連携強化と優秀な留学生の獲得に向けた重要な一歩が踏み出されました。今後もこれらの連携を深め、学生交流をさらに促進していく予定です。さらに、**年明けにはインドネシアを対象としたオンライン留学フェアの開催も予定**しており、リクルート活動を継続的に展開していきます。

国際教育支援

## 学問に情熱を注ぐウクライナ学生3名にインタビューを実施

本学では、ウクライナの厳しい状況を踏まえ、学術交流協定校であるキーウ工科大学およびタラス・シェフチェンコ記念キーウ国立大学からの学生受け入れを表明し、現在18名のウクライナ学生を迎えています。今回、**3名のウクライナ学生にインタビューを実施**しました。インタビューでは、**彼らの学びや研究、そして将来の展望について語られています。**インタビューの詳細は、大学院教育支援機構のウェブサイトにてご覧いただけます。



国際教育支援

留学生のリクルーティング

## KU-STARプログラム2024修了、2025年メルボルン・インド向けプログラム始動

インドの優秀な学生を対象とした短期研究室受入プログラム「Kyoto University Short-Term Academic Research (KU-STAR) Program」が、2024年7月19日に終了しました。プログラム後半には、松井孝治京都市長への表敬訪問や大学院進学説明会、参加学生による成果発表会が行われ、KU-STAR Programでの研究成果や学びが披露さ



れました。**参加者はこのプログラムを通じて大きく成長し、複数の学生が本学大学院への進学を希望**しています。2025年1月にはメルボルン大学、5月にはインドの大学を対象とした同プログラムを実施予定です。参加希望の研究室は、大学院教育支援機構までお問い合わせください。



国際教育支援

## JST さくらサイエンスプログラムでインド人学生を受け入れ

2024年9月9日から10日にかけて、JSTが主催する「さくらサイエンス・インド大学生招へいプログラム」の一環として、**インド工科大学(IIT)などトップ大学10校から55名の学生を受け入れ**ました。初日は吉田キャンパスで本学の概要や支援制度、キャンパスツアー、iPS細胞研究所と8つの

研究室訪問が行われました。2日目は桂キャンパスで講演と工学研究科の6つの研究室訪問があり、昼食時には**本学の学生約40名も参加し、学生同士の交流を深め**ました。これらを通じ、学生たちは日本の科学技術や文化への理解を深め、将来の進学や研究への関心を高めました。



国際教育支援

## JICA インターンシップ・プログラム学内説明会を開催

2024年9月27日、JICAインターンシップ・プログラムの学内説明会が対面とオンラインで開催され、**60名以上の学生が参加**しました。総合生存学館の牧野耕司特定教授によるプログラム紹介や、JICA関西センターの鍛冶澤千重子課長による説明に加え、プログラム参加学生による体験談の発表も行われ、非常に充実した内容となりました。個別相談では多くの質問が寄せられ、学生たちの関心が高まりました。今後もこのようなキャリア支援の機会を提供していきます。



## Kingfisher Global Leadership Program を実施



本プログラムは、久能祐子元理事やワシントンD.C. 京都大学同窓会の協力を得て企画され、同窓会を中心に米国ワシントンDCに設立された京大コロガ(Kyodai Collaborative)と本学が連携して実施する海外派遣プログラムです。約2週間、**参加学生**



**は米国の主要都市を訪れ、NASA、世界銀行、Googleなどの国際機関や企業を訪問し、現地のスペシャリストと直接対話しながらリーダーシップについて学びます。**参加費用は京大コロガの支援を受けられ、国際キャリアを目指す学生にとって非常に魅力的なプログラムです。今年度は74名の応募者から10名が選ばれ、8月30日から9月14日まで実施されました。